

週報 第3299回

会 長 杉本 憲一 副会長 中 透
幹 事 細川 嘉則 SAA 川崎 久典

例会場 ホテルレイクアルスターアルザ泉大津
T E L 0725-20-1121
例会日時 毎週金曜日12:30~13:30



事務局 〒595-0062 泉大津市田中町10-7 泉大津商工会議所3F
TEL.0725-21-9500 FAX.0725-21-9501
メールアドレス info@izumitsu-rc.org
ホームページ http://izumitsu-rc.org



今週の例会 (2025年7月18日) 第3299回

■ プログラム

卓話担当 岡本 笑明 会員
「結婚式の本当の意味 〜結婚したくなるお話〜」

■ 次週のプログラム

7月25日:卓話担当 櫻井 善章 会員
卓話講師 食育イベント企画「はなみずきYuu」
代表栄養士・食育アドバイザー・心理カウンセラー
中塚 由子 様
「食育を広めるために」地域の子育て支援活動について

■ 今後の予定

・8月1日:クラブフォーラム
クラブ奉仕部門各委員長

■ 祝 誕生日

なし

■ 今月のロータリーソング

それこそロータリー

今月の歌

知床旅情

知床の岬に はまなすの咲く頃
思い出しておくれ 俺達のことを
飲んで騒いで 丘に登れば
はるかクナシリに 白夜は明ける

■ 先週の例会

会長の時間



杉本 憲一 会長

7月度 重点分野

母子の健康

ロータリーは、母子の健康を改善し、5歳未満の幼児の死亡率を減らすための活動と研修を支援します。この分野のプロジェクトは、医療サービスへのアクセスの改善および拡充、医療機器の提供、および医療従事者の研修によって、医療システムを強化します。

この重点分野の目的と目標

ロータリー財団は、ロータリー会員が以下のような活動によって母子の健康を改善するのを支援します。

1. 新生児や乳幼児の死亡率の削減。

2. 5歳未満の幼児の死亡率と罹患率の削減。
3. 妊婦の死亡率と罹患率の削減。
4. 基本的な医療サービス、研修を受けた地域社会の医療従事者、および医療提供者へのアクセスの改善。
5. 母子の健康に関連した仕事で活躍していくことを目指す専門職業人のための大学院レベルの奨学金支援。

みんなと一緒に笑顔の食事：食が与える幸福の力

「家族と一緒においしい食事を取り、笑い、おなかいっぱい眠りに就く」。そんな世界共通の幸せを実現すべく、子どもたちのために奮闘する若き栄養士、川合菜月さん(ロータリー元奨学生)の記事(ロータリーボイス 2024/12/2)からの抜粋ですが紹介します。

川合 菜月(かわい なつき)さん

1994年生まれ。大分県出身。2018-19年度ロータリー財団のグローバル補助金奨学生としてイギリス・ウェストミンスター大学院で国際公衆栄養学を専攻。国際医療NGO・ジャパンハートカンボジアが運営する小児病棟で栄養管理部マネジャーを経て、現在はUNICEF(国連児童基金)セネガル事務所の栄養担当官として西アフリカ地域24カ国の栄養改善に取り組んでいる。

カンボジアには給食を提供する病院はほとんどありません。国内に栄養について理解している人は少なく、栄養士がいない国ですから、栄養事業を立ち上げることで自体が難しく、栄養とは何か、なぜ病院に必要なのか、を分かってもらうまでに時間がかかります。これは現地の方だけでなく一緒に働くスタッフも同様です。スタッフの平均年齢は私より8歳ほど上。加えて現場で日本人は私一人。しかもスタッフは一人を除いて現地の言葉(クメール語)しか話せないため、私が言葉を覚えながらマネジャーとしての役割を果たそうとしています。

「日本ではほぼすべての病院が管理栄養士や医師、看護師らと協働しながら、入院中の患者1人ひとりの症状、治療方針に合わせた病院食を提供しています。余程の国の状態でなければ、今ではこれが普通だと思ってましたが。」

患者の皆さんは私のことを「ごはんの先生」と呼んでいます。栄養のことを、「元気に過ごすパワーをくれる

ごはん」と説明すると、理解してくれました。そのような状況の中、カンボジアにない「栄養」の概念を軸とする活動を軌道に乗せるべく奮闘中です。

幹事報告

細川 嘉則 幹事

- ガバナー月信7月号を皆さんのテーブルに置いております。
- 高石ロータリークラブ例会変更のご案内
7月22日(火)は休会
7月29日(火)は納涼家族会
8月12日(火)は休会
- 7月16日(水)は事務局がお休みとなりますので、ご承知おきいただきますようよろしくお願い致します。

委員会報告

来週18日(金)例会終了後、くすのきの間に国際奉仕部門合同委員会がございますので、関係者の方はよろしくお願い致します。

(西田 佳郎 国際奉仕部門理事)

■ ビジター

ガバナー補佐 久保 忠生 様(和泉RC)



■ 出席報告

会員数40名 出席免除0名

月日	出席数	欠席	補充	出席率
7/11	29名	11名	—	72.50%
6/27	35名	8名	1名	83.72%

■ メークアップ

榎本(7/7 ワールド大阪ロータリーEクラブ)

■ ニコニコ箱

- ・久保ガバナー補佐、本日は泉大津ロータリークラブのアッセンブリーにお越しいただきありがとうございます。後程、講評をお願いします(杉本)
- ・各クラブ奉仕理事の皆様、本日のクラブアッセンブリーでの担当奉仕部門の発表、よろしくお願いいたします。久保ガバナー補佐様、全体講評をよろしくお願いいたします(細川)

- ・各部門理事の皆様、クラブアッセンブリーよろしくお願ひします。久保ガバナー補佐様、お越し頂きありがとうございます。よろしくお願いいたします(川崎)
- ・本日御暑い中、久保忠生ガバナー補佐様、宜しく御願ひ申し上げます(釜野)

ニコニコ箱合計	11,000円
累計	24,000円

先週のプログラム ▶ クラブアッセンブリー



瀧谷 達 クラブ奉仕部門理事

クラブ奉仕部門

本年度、クラブ奉仕部門担当理事をおおせつかりました瀧谷です。一年間よろしくおねがいいたします。本年度クラブ奉仕部門は、会員増強・クラブ研修委員会、会報・IT委員会・親睦活動委員会の3委員会にて構成運営してまいります。

会員増強・クラブ研修委員会は松内俊夫委員長のもと、会員拡大を軸に委員会を運営してまいります。現在、ロータリー会員が減少傾向にあるなか、我が泉大津ロータリークラブの魅力を伝え、会員確保に全力をあげて邁進してまいります。皆さんにおかれましても入会会員にいたる情報がございましたら、お教えいただき会員拡大につなげていきたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。

次に会報・IT委員会は森田真一郎委員長を筆頭に、ロータリアンとしての親睦と奉仕の実践において必要な情報の収集や発信を行い、泉大津ロータリークラブの活動を分かりやすく広報していく活動をしてまいります。またデジタル化が進む社会において当クラブでもIT

の活用を適切に進め、時代に応じたクラブの運営や会員の皆様のITリテラシー向上のサポートにも努めて参ります。

活動としては、クラブの各種活動をクラブ外への積極的な情報発信・ホームページやSNSを有効に活用して活動状況を発信、親睦イベントをはじめ、様々な活動記録を適切に収集、週報を使った更なる情報発信、会員がより親睦を深めるために必要な情報の掲載、My ROTARYの登録促進等をおこなってまいります。

次に親睦委員会は山本博章委員長を中心に、クラブ内の会員相互の交流を深め、和やかで活発なクラブ運営を支えることを目的とし。会員一人ひとりがクラブに居場所を感じられるよう、多様な親睦活動を企画・実施いたします。

目標として、

会員相互の理解と親睦を深めること、会員の出席率向上とクラブ活動への積極的参加を促すこと、新会員がクラブに早期に溶け込めるようサポートすることを目標に掲げ、納涼例会、クリスマス例会、各同好会の運営(日本酒、グルメ、ウオーキング同好会)、その他 特別事業などでの設営、受付、等の助成等の活動をしてまいります。

以上3委員会にてクラブ奉仕部門を運営させていただきます

各委員会とも、皆様のご協力なしでは円滑な委員会運営ができません。皆様本年度各委員会、クラブ奉仕部門にご協力の程、よろしくお願い申し上げます。皆さん心1つになって泉大津ロータリークラブを盛り上げていきましょう。



道正田 均 職業奉仕部門理事

職業奉仕部門

テーマ:環境と職業倫理の融合 — 舞洲工場見学を通じて学ぶ持続可能な社会

■ 背景・目的

現代社会において、環境配慮と社会的責任はすべての職業人に共通する重要な課題だとおもいます。そこで本活動計画では、大阪広域環境施設組合舞洲工場(通称:舞洲ゴミ処理場)の見学を通じて、最先端のごみ処理技術と美的建築が両立した施設から、「持続可能な社会と職業倫理の在り方」について考える機会にしたいと思います。

■ 企画内容

- ・施設見学:大阪広域環境施設組合 舞洲工場(大阪市此花区)
- ・日時:未定(万博が終了したタイミングくらいで考えてます)
- ・交通手段:貸切バスまたは現地集合

■ 活動の柱

- ・ゴミ処理・再資源化の仕事の社会的意義と課題
- ・焼却熱の有効利用(発電・温水供給)による循環型社会の実践
- ・フンデルトヴァッサーによる建築から学ぶ「仕事に誇りを持つ空間づくり」
- ・美しい施設がもたらす住民意識の変革



今井 克範 社会奉仕部門理事

社会奉仕部門

(地域社会奉仕 青少年(青少年、RYLA))

【活動基本方針】

社会奉仕は、「自分よりまず人のために行動する」というロータリーの精神を実践できる機会です。ロータリアンが一人ひとりの行動として地域における貢献をより具体的に行える環境づくりを行います。2025-26年度テーマ「Unite for Good」(よいことのために手を取りあおう)という羅針盤のもと、地域の行政・住民・企業・教育機関と手を携えながら、持続可能で安心に暮らせる地域づくりに貢献できる様、私たちクラブ会員・地域住民・次世代リーダーが「ともに善いことを成し遂げる」場を創出することをめざします。

地域課題への実践的アプローチ

泉大津市が抱える健康寿命延伸という課題に向き合い、健康で持続的な活動ができるための心身の健康増進について接する機会を設け、自らの体験をもとに、地域社会への啓発を行うことで、健康共生社会へつながる機会づくりを行います。

【活動計画】

1. 地域行政が抱える課題である介護予防、健康寿命延伸を支えるため、市の実施する保健事業に参加し、地域高齢者との交流を通して健康意識の醸成と啓発を活動として行います。

2. 青少年の健全育成と、若者が主体的に社会課題に取り組む機会を創出するための考える場を設け、地域における次世代リーダーが育つ土壌づくりを教育関係者と共に実践します。

3. 泉大津献血推進協議会等と協力し、献血活動を

行います。

4. 環境保存や港湾美化啓発運動(清掃)を継続活動します。

5. 青少年委員会活動として地域の諸団体と協力して、泉大津市主催のダンスイベントや泉大津市の子ども食堂等に協賛・後援協力を継続活動します。

今年度、「よいことのために手を取りあおう」を合言葉に地域社会へより良い貢献ができるよう、積極的に内外に働きかけ、持続的な地域となり得る土壌づくりをロータリアンが考え行動できる1年としていきます。泉大津ロータリークラブ会員全員が社会奉仕に対して考え、自覚し、貢献できる地域社会の一員になるべく、皆様のご理解、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



西田 佳郎 国際奉仕部門理事

国際奉仕部門

皆様、こんにちは。

今年度、国際奉仕部門の理事をさせていただくことになりました西田です。

1年間宜しく願い致します。まずは、少しお時間もございしますので、各委員会のご紹介をさせていただきます。

本年度IRCではロータリー財団委員長に今井康隆会員、米山記念奨学委員長に松村泰英会員、グローバル基金財務委員長に西端会員を軸にこの3委員会で国際奉仕部門は構成されております。

まず、【活動基本方針】です。

ロータリー財団の使命に、ロータリー会員が健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善平和を達成できるようにすることと掲げられています。

本年度RI会長のメッセージは、「よいことのために手

を取りあおう」をフランチェスコ・アレツツォ氏が引き継がれました。

昨今、戦争や自然災害が多発しており、そんなときだからこそ改めて、ロータリアン同士が手を取りあって、小さな奉仕がより良い社会づくりにつながっていき、今後の親善、平和への推進とつながっていけばと思います。

今年度の【活動計画】です。

- ①2026年6月13日～17日に開催されますRI国際大会(台湾 台北)への参加の呼びかけ
- ②本年度は地区補助金を使った事業として、泉大津市の口腔保健事業を機会とした口腔機能測定器「健口くん」の導入によって地域社会の健康づくりと健康寿命の延伸について、社会奉仕部門とコラボしながらの取り組み
- ③グローバル奨学生の報告
- ④ロータリー米山記念奨学事業について

①の国際大会は今後またあらためてご案内させていただきます。

②の地区補助金を使った事業は、前年度の今井委員長に地区への申請書作成から提出までを済ませて頂いておりますので、申請が通れば実行したいと思っております。

③グローバル奨学生の報告ですが、岸田隆明さんは、最初2022年9月にスイスのローザンヌへ出発し、本年度4月にローザンヌより最終報告書が提出されたとのことなので、本年度末に、もし、帰国された際には、一度例会にてご報告いただければと願っております。

④のロータリー米山記念奨学事業ですが、ロータリアンからの寄付金を財源として、日本で学ぶ外国人留学生に奨学金を支給し、支援することによってロータリーの良き理解者となる人材を育てる事業ですが、機会があれば積極的に進めてまいりたいと思います。

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基盤として奉仕の理想を奨励し、これを育むことにある。

具体的には、次の各項を奨励することにある。

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること。
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

四つのテスト

= 言動はこれに照らしてから =

- 1. 真実かどうか
- 2. みんなに公平か
- 3. 好意と友情を深めるか
- 4. みんなのためになるかどうか